

# 神戸だより

台湾交流支援の会 2017.12発行 Vol. 2

## <神戸の今 : 世界一のクリスマスツリーが神戸に登場しました>

11月17日、はるばる富山県から大型のクレーン船に乗せられ高さ30mのあすなろの木が神戸にやってきました。沢山の人が出席した植樹式でメリケンパークの巨大な鉢に据付けられました。この重さ24トンのあすなろの木は建築材料としては不適なため、値段は60万円ほどだそうです。一枚500円の丸いカードにいろいろな願い事を書いてツリーに飾ります。12月2日から26日までライトアップされて、たくさんの人が見に来ています。クリスマスが終わった後は、このあすなろの木は切られて神戸の生田神社の鳥居にされるそうです。キリスト教の飾りが神社の鳥居になるとは少し不思議ですね。



## <日本事情 : 年越し > 小林美津子



台湾のみなさんこんにちは！

台湾の気候と比べると春夏秋冬のある日本の冬はとても寒いです。

「神戸だより」今月は日本の年末の過ごし方をお伝えします。

1年の締めくくりに、大掃除を済ませ正月の準備を整えて12月31日の日昏になると1年無事に過ごせたお礼に近くの神社にまいりにいく人もいます。

また出かけられない人は家でテレビ放映される全国の寺院の除夜の鐘を聞きます。

除夜の鐘とは大晦日に人の煩惱の数と同じ108回鐘を撞きその厄を追い払うという意味があります。

山や森に梵鐘の音が響き渡ると「今年も終わったな。」と実感します。

そして、無事息災を祝って年越し(晦日)そばをみなで揃っていただきます。しかし近頃はこれら日本の風習も簡素化されて普段通りに過ごす人も多いようです。

